

港灣の國費投入に期待

留萌港の経済性に曙光

開発局中心に交通運送調査

六月はじめから北海道開発局が中心となつて留萌港を中心とする交通運送体系確立に関する調査が行われることになりました。

市が三年前から調査をしてきたように要請していたもので、このほど本決定の連絡が市にありました。

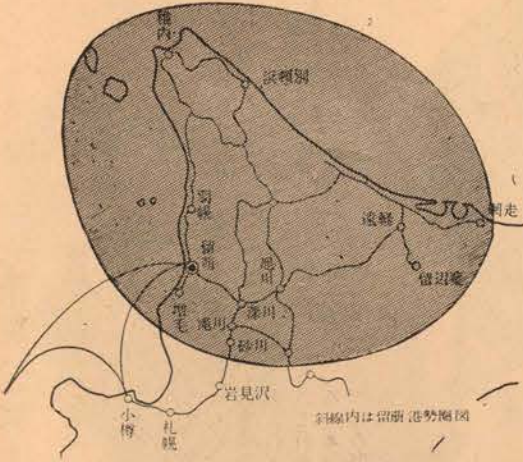
道内主要港では函館、室蘭、釧路で行われ、こんど留萌港が選ばれたのは、ヒンターランド(港の背後地)面積が道の内の四分の一、その人口でも約三十%を占める広範囲にわたる北海道開発の重要な役割が認められたことです。

したがって、この調査では、留萌港の利用状況は

じめヒンターランドとの貨物の交流を国鉄貨物列車、貨物自動車、海運業の三部門から分析して、留萌港の将来の経済性を調べて、各産業別の生産活動と生産物移動の関係など大がかりに行われ、今後の国費の重点的配分を決める資料とされるだけに、大きな期待がかけられています。

なお、調査団は、開発局の官房開発調査課を中心に札幌、旭川の両陸運局、北海道海運局、国鉄、私鉄、貨物輸送業など広い範囲から調査員を集めて行われる予定です。

留萌港勢力圏図



「お母さん、おみやげ買った勝ちやん。しかしわたくしの手にはかえつてこない」こんな嘆きをよそに、きょうも交通事故はたえない。交通事故はもうたくさんという市民の声を聞いたのも幾度あつたでしょう。しかし交通事故は激増の一方です。

こうした市民の切実な願いが、おたがいの心に呼びかけあつて、留萌市から交通事故を追放しようという市民運動が盛り上つてきました。

留萌市は、これから夏祭りや観光、行楽シーズンにはいるだけに、交通事故の多発が予想されますが、これをなくするのは、なんといつても事故が起こらない

全市民の願いをこめて 留萌市交通安全推進協議会を結成

ように、市民ひとりひとりが交通安全に対する社会人としての道徳心、人間性を忘れてはならないということになります。

こうして、交通安全都市の建設をしようとして、近く全市民を集め、「留萌市交通安全推進協議会」を作り大市民運動を進め、市議会でも、全市民の願いとして、六月議会で「交通安全都市宣言」をしようという呼びかけの準備を進めていきます。

交通安全都市宣言を市議会ですること、その日から市民みんなが固い誓いをすることです。

とかく交通事故の原因は事故の当事者だけの責任とさめつけるだけでは、交通事故をなくするには、できません。それは市民みんなの責任であることを、この際市民ひとりひとりが胸にキザむことが一番たいせつなことです。



個人住宅建設 資金の申込み

おたくの家を増築するのに、住宅金融公庫では資金を貸します。

申込みは、六月一日から十四日までで、貸しつけの条件がいろいろあります。

ご希望の方は、市住宅係までお問い合わせください。

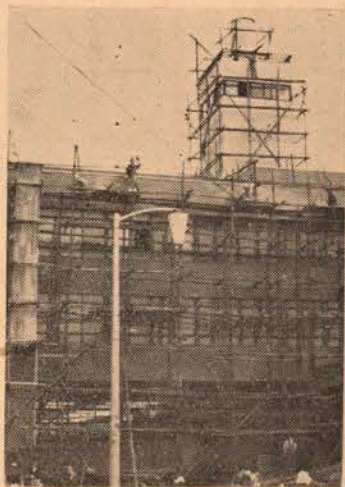
市総合庁舎のお化粧進む

市役所外装のお化粧がはじめられています。

市総合庁舎は、外装を残して執務をまわす、外装工事が始められたもの。

「アパタ顔」の市役所も次々に「エンジ色」のタイルがはじりこめられて行きますが、これが終わると本場に親しみ深い温い感じの市役所ができ、これにあわせて庁舎正面の広場に花壇などを作つて整備もされます。

なお、庁舎の望楼にとり



工事は、六月末で全部終了予定ですが、市では庁舎竣工にあわせ、記念行事を行うため、いま事業計画の検討を進めています。

(写真は外装工事中の庁舎総合庁舎)

清い票積ってよい国よい政治

「カットはロダンの考える人」

自衛隊の協力で市内を消毒

市では、自衛隊二十六連隊(留萌)の協力を得て、市内の薬剤散布による防疫を行いました。

これは、春の清掃美化運動にあわせ、市から薬剤を出し、自衛隊から機動力と隊員の協力を得て行われたものです。

とくに、防疫地域は、共同ゴミ捨て場駅前自由商場付近、末広町一帯、副港地域、元町、大町地域などよく汚染の

げしいところを選び、これから発生するハエやカに一大打撃を与えようというものです。

四月二十二日(日曜日)から三日間、自衛隊員は鉄砲を消毒器に持ちかえて、市内の消毒に大奮闘、地域住民から喜ばれました。

(写真は自衛隊員による市内の消毒)

14日に市議会

留萌市定例議会は、六月十四日招集されます。

この議会には、先きに決まつた本年度の各会計骨格予算に新市長の政策予算を肉づけする追加更正予算案などを審議します。

「理の政治」に期待

きんどこそあなたの良識を



七月一日には参議院議員の選挙が行われます。

参議院は衆議院とともに国の最高機関である国会を構成する一院として、昭和二十二年

に成立しました。

全国民から、選挙によって選ばれた二百五十名(全国区百名、地方区百五十名)で構成され、任期は六年(衆議院は四年)ですが、三年ごとに半数の議員を改選することになっています。

日本国憲法が、参議院に期待する機能が、衆議院の選挙制度とは違つた国民代表選出制度を混合することによつて、国民に基礎をお



急行列車、テープを切つて発車

なお、はほろ号の運行にもない、停車駅の留萌では、市、商工会議所が市民を代表して歓迎、初運行の五月一日午前九時半ホーム上で列車乗務員に市女子職員から花束を贈るとともに寺井助役(市長代理)が五色のテープにはさみを入れて出発を祝いました。

(写真は急行列車の発車を祝う留萌駅頭)

夢の急行列車が留萌本線にも走りはじめました。留萌本線には、きよねん一月準急行列車も、はほろ号が運行されましたが、さらに道北各地の交通距離を縮めるものと急行列車の運行が望まれました。こんど運行された急行列車ははほろ号といひ、幌延札幌間を毎日一往復しましたが、この調査では、留萌港の利用状況は

正な立場から衆議院のあやまりを正したりゆきすぎを押しあたりして、衆議院による多数の政治を「理の政治」に向けて行くというこ

それだけに、こんどの参議院議員選挙は、非常に重要な意義を持つています。

たしかに、衆議院と同様に政党政治の対立政治が行われていたことはあつたと思ひます。それだけに、あなたには参議院は必要ない」と考えてはいませんか。

その考え方が危険なので、それではまずまず国民からはなれた政治が行われ

参議員に知性を

議院に

集め政

党の対

立抗争

からは

なれて

中立公

明るい政治を実現し